

テーマ 『音』

ねらい 『音と表現』

【活動内容】①全クラス…スピーカーを使用し、様々な動物の鳴き声を流して子どもたちが自由に身体を動かし表現する。

②幼児クラス…影絵、ミュージカルを見に行く。

【問いかけ】①鳴き声を聞いて想像する動物の身体の動かし方を考えてみよう

②表現にはどのようなものがあるのか、表現者の表現の仕方を実際に見に行く

活動報告①

乳児・幼児と保育室を分け、両部屋のスピーカーを使用し同時に活動を行った。始めに、動物に関してのクイズを出す。答えの動物に対して「どんな音が聞こえると思う？」と問いかける。ウサギなら「ぴょんぴょん」「ぴょーん」など子どもたちからその動物に対してイメージする音が聞かれた。その後、子どもたち一人一人が想像する動物になりきり身体を動かす。ライオンでは四つん這いになり歩く真似をする子、二足歩行で「ガオー」と言いながら爪を立てる真似をする子などがいた。



活動報告②

幼児クラスは園バスに乗り、影絵を見に行く。見に行く前にシルエット遊びや動画で影絵について話していたこともあり興味を持ちより楽しんで見ていた。シルエットでウサギやハトになる手の形を真似るコーナーでは器用に真似る姿が見られる。『はなさかじいさん』の物語では話の内容を分かっている子たちが多く、最後まで集中して見る。また、知っているうたが始まると一緒に口ずさむ様子も見られた。園に戻ってからも覚えてきたうたを口ずさむ姿が多い。

4・5 歳児は園バスに乗り、劇団四季の『王様の耳はロバの耳』を見に行く。事前に絵本や紙芝居でストーリーを理解していたので内容を理解しながら見る様子があった。手拍子をしたり、キャストと一緒に歌ったりと参加できる部分もあったので最後まで楽しんでた。メインの歌を覚えて口ずさむ様子や、家庭でも劇団四季の動画を見て別の歌を覚えて歌う様子が見られる。



【振り返りと反省】

乳児クラスは、なりきり遊びの活動機会が少なかったが保育者の動きを真似しながら動くことを楽しんでいたので良かった。幼児クラスの影絵、劇団四季では実際に見に行くことでより表現の仕方に興味が出来てきたように感じる。日ごろの生活の中でも影響が見られるのでこの気持ちを大切にしながらお遊戯会で表現を楽しむように関わっていききたい。